

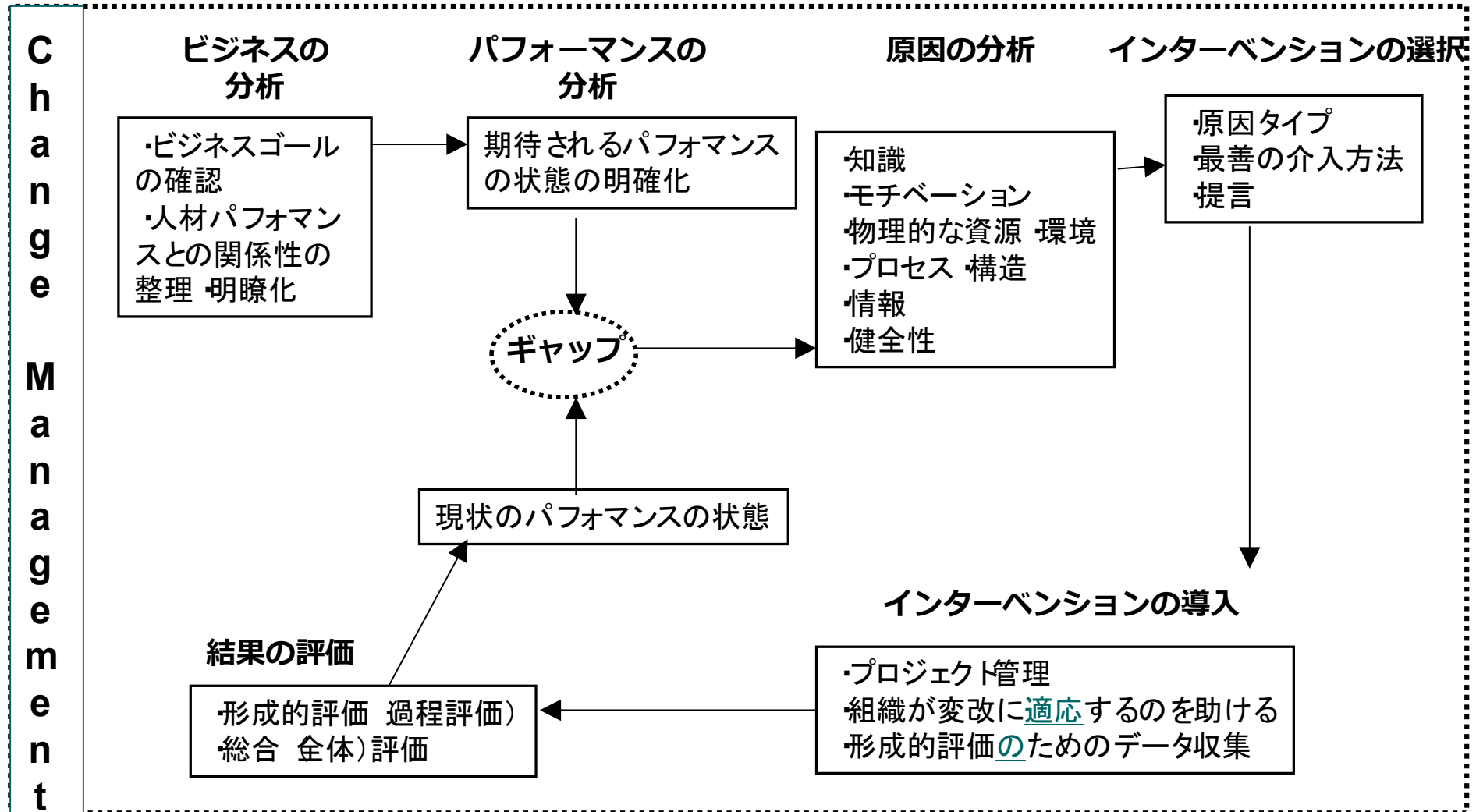
ATD IMN Japan HPI委員会2016年度活動報告会

2017年7月6日



HPIとは？

HPIのフレームワーク



HPI委員会今年度テーマ紹介

テーマタイトル:

パフォーマンス・マネジメントの推進 ～ITシステム活用のキーポイント～

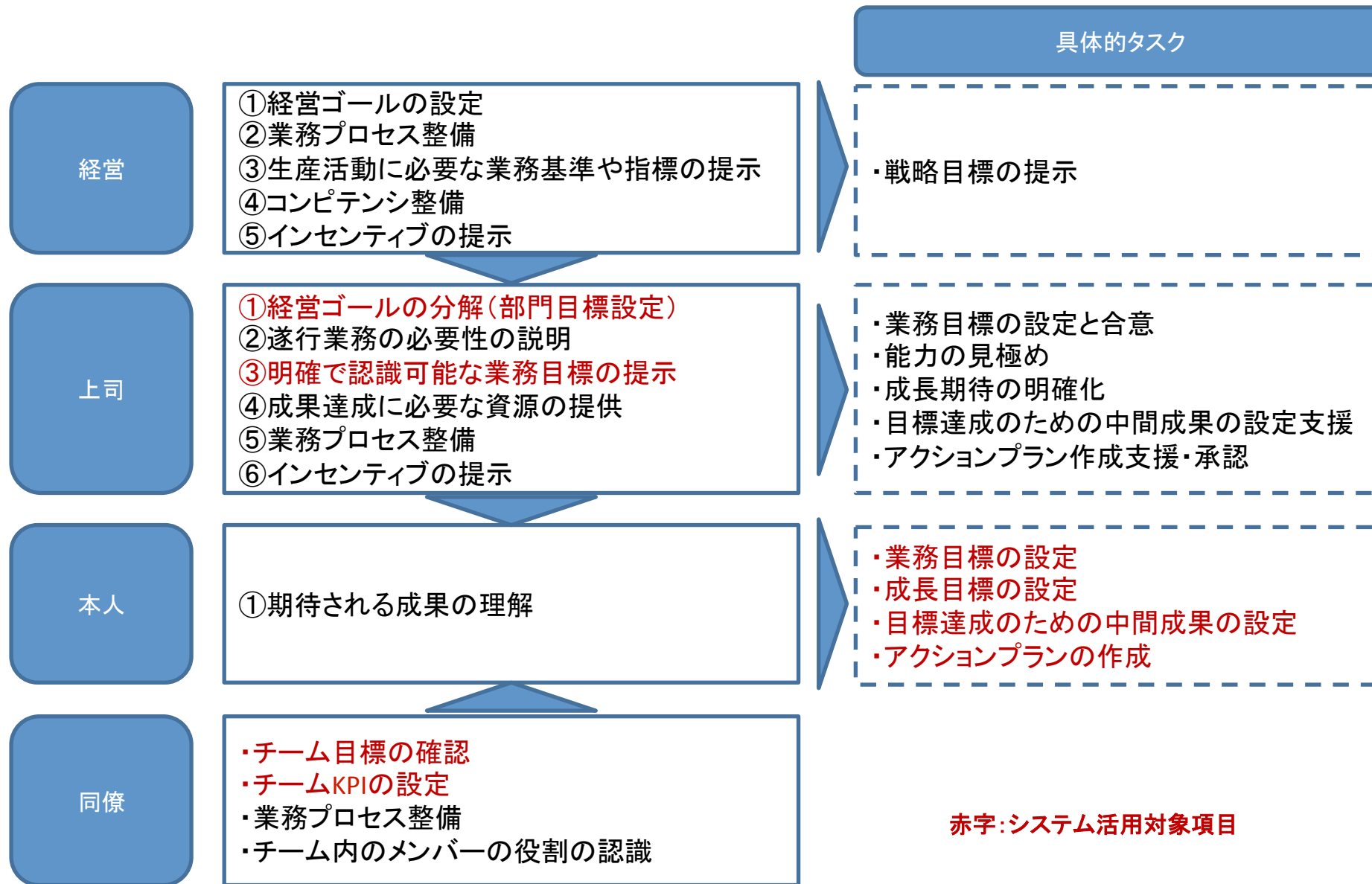
時代とともに、パフォーマンス・マネジメント(PM)に対する要求事項は変わっていく。現在は、頻繁なチェックインやコラボ促進等、ピープルマネジメントに焦点が当たっている。

いっぽうでITを活用してPMを支援するシステムを目にする機会が増えてきたが、PMの要求事項を踏まえずに、システムを使いこなすことは難しい。

今回は現在のPM要求事項を踏まえて、ひとつのPMプロセスモデル(*)を委員会で議論・共有した。このモデルに沿ったPMでは、支援システムをどのように活用したら効率的・効果的なのだろうか。

PMプロセスモデルの紹介をもとに、ベンダー・参加者の方達と知見を共有したい

(1) 目標設定



(2) 進捗管理

具体的タスク

上司

- ① パフォーマンスの確認と仕事の仕方・働き方に対する頻繁で適切なフィードバック
- ② 矛盾のない優先順位の提示
- ③ 成果達成に必要な資源の確認
- ④ 動機付け
- + (4)の要素

- フォーマル(定例1on1)
 - ・ アクションと結果の確認
 - ・ 課題解決のコーチング及びコンサルティング
- インフォーマル
 - ・ 状況把握
 - ・ 相談へのフィードバック、アドバイス、解決支援

本人

- ① 合意した優先順位の妥当性の報告
- ② 成果創出に向けての業務成果の蓄積および報告
- + (4)の要素

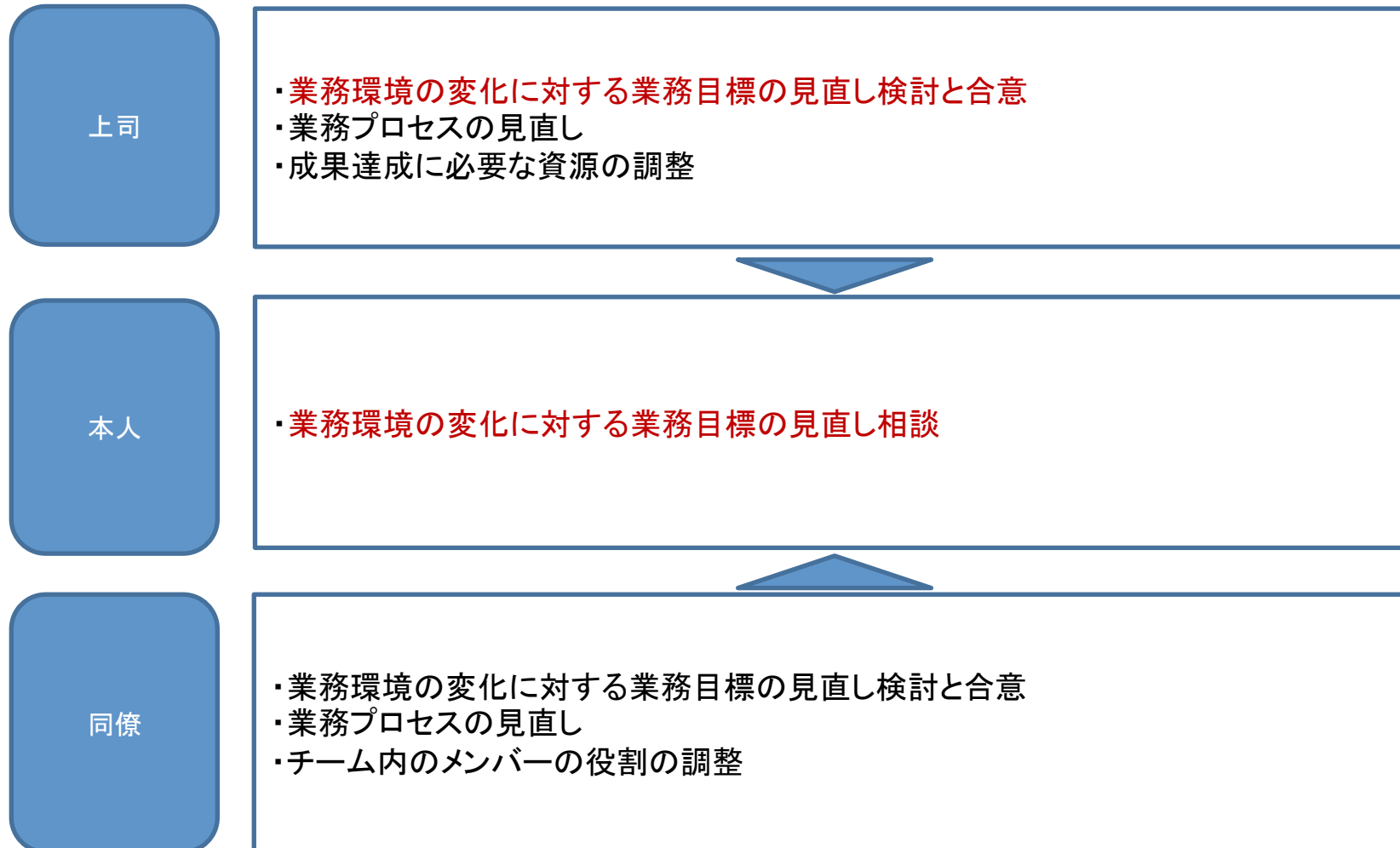
- フォーマル(定例1on1)
 - ・ アクションと結果の報告
 - ・ 課題の共有
- インフォーマル
 - ・ 課題に関する相談
 - ・ 個人的な相談

同僚

- ① 仕事の仕方・働き方に対する頻繁で適切なフィードバック

- フォーマル(部門ミーティング)
 - ・ 進捗、業務課題の共有
 - ・ 課題への解決策の検討やアドバイス
 - ・ 業務に対するフィードバック
- インフォーマル
 - ・ 業務に対するアドバイス
 - ・ 個人的な相談に乗る

(3) 中間レビュー(四半期・半期)



(4) 最終確認(半年・1年)

経営

- ・活動成果の評価、活動プロセスの評価を集計して(1)目標設定に反映
- ・**組織キャパシティの確認**
- #キャパシティ: 個々人の能力(質・量)を表す
- #ケイパビリティ: 組織能力を表す

上司

- ・会社から提示された業務基準や指標と比較した活動成果の評価
 - －業務成果の確認
 - －業務目標の達成度の評価
- ・**コンピテンシベースの活動プロセスの評価**
 - －成長目標の達成度
 - －ポテンシャル(将来の可能性)の確認
- ・**キャリアパスの確認**
- ・インセンティブの提示

本人

- ・会社から提示された業務基準や指標と比較した活動成果の報告
 - －業務目標の達成度の確認(自己評価)
 - －成長目標の達成度の確認(自己評価)
- ・**キャリアパスの意向の提示**

同僚

- ・**本人の業務および成長に関するエビデンスの提示**

ベンダー・参加者ディスカッション

これから、HPI委員会版パフォーマンス・マネジメント実践プロセスに沿って、ディスカッションを行います。実施要領は下記の通りです。ご参加をお願いします。

#	プロセス	実施事項	目安時間
1	目標設定	■パネルディスカッション ベンダー1社より支援方法について紹介 (補足あれば他ベンダーからも紹介)	15分
2		■参加者ディスカッション(グループワーク) テーマ:このプロセスの課題について	10分
3		■参加者間の課題共有、ベンダーコメント	5分
4	進捗確認	■パネルディスカッション	15分
5		■参加者ディスカッション(グループワーク)	10分
6		■参加者間の課題共有、ベンダーコメント	5分
7	中間レビュー	■パネルディスカッション	15分
8	最終評価	■パネルディスカッション	15分
9	全体プロセス	■参加者ディスカッション(グループワーク) テーマ:プロセス全体を通じた課題について	20分
10		■参加者・ベンダー課題共有、まとめコメント	10分